

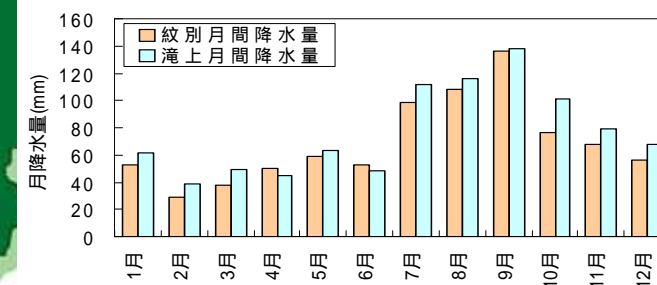
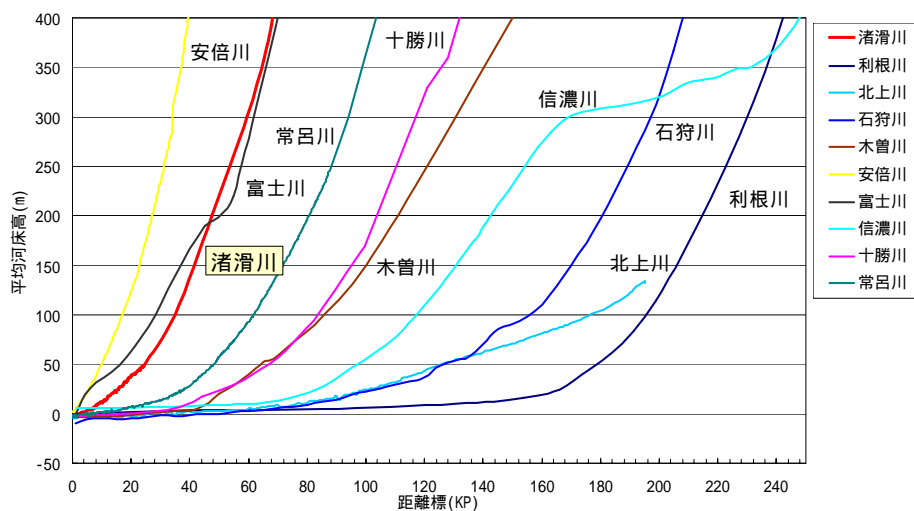
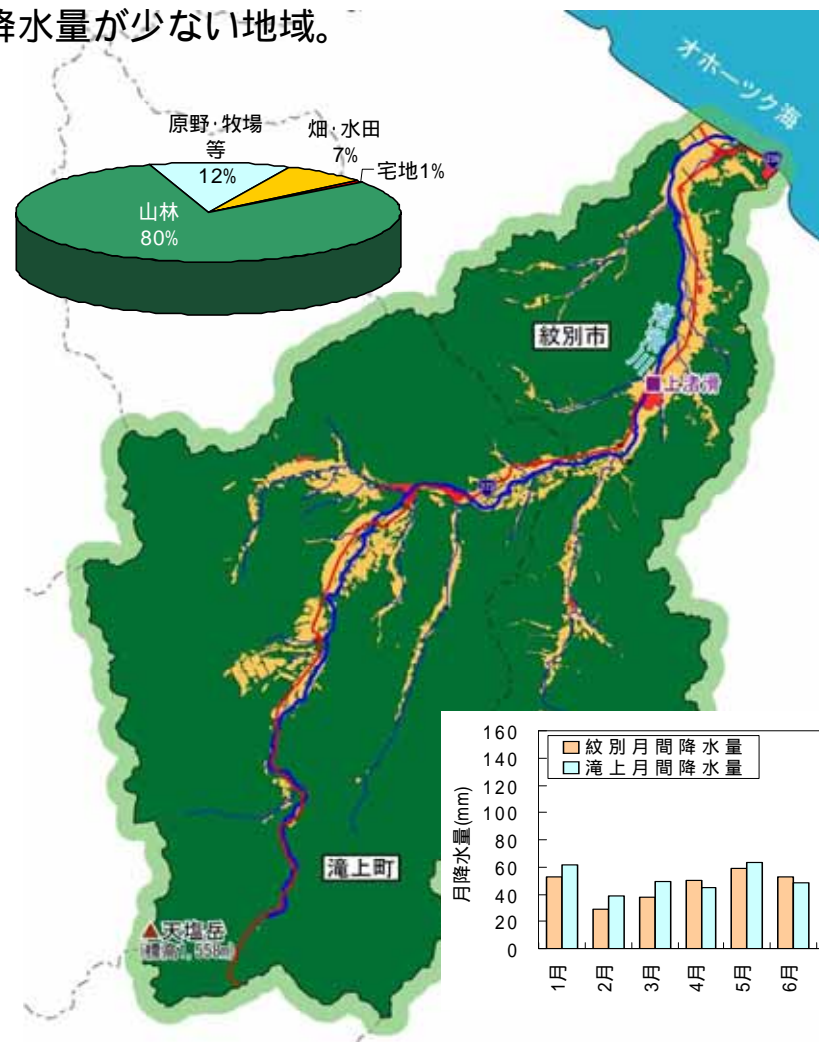
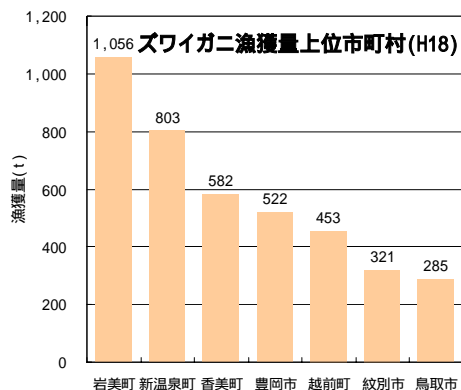
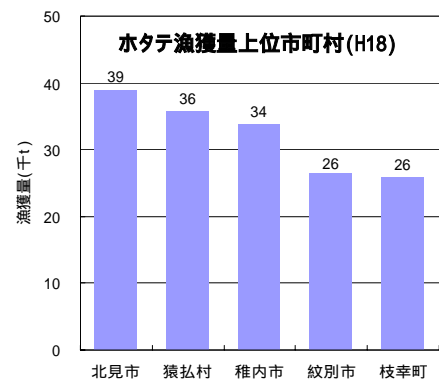
# 渚滑川水系河川整備基本方針について

# 1 . 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

## (1) 流域及び河川の概要

### (概要)

- ・ 幹川流路延長84km、流域面積1,240km<sup>2</sup>の一級河川。
- ・ オホーツク圏における社会・経済・文化の基盤。
- ・ 流域は、山林等が約80%、原野・牧場等が約12%、耕地は畑作の約7%、宅地等の市街地が約1%。
- ・ 酪農を中心とした農業、水産業が盛ん。流水接岸期は冬期の観光。
- ・ 国道238号、273号の基幹交通施設、近傍に重要港湾の紋別港、オホーツク紋別空港があり、交通の要衝となっている。
- ・ 国内では分布が非常に限定されるケショウヤナギの群落が分布しているなど、豊かな自然環境に恵まれている。
- ・ 平均年間降水量は約800mm程度であり、全国でもっとも降水量が少ない地域。



## (1) 流域及び河川の概要

## (流域の自然環境)

- ・ 上流部(源流からオシラネップ川合流点付近)山間部では、エゾマツやトドマツ、ダケカンバ等の混生する針広混交林が広く分布、山間部を抜けると大小様々な滝が連なるなど渓谷河川を形成し、オシヨロコマ等の魚類が生息。
- ・ 中流部(オシラネップ川合流点からウツツ川合流点)山地と連続した河岸には砂礫質の砂州が形成され、渚滑川を代表するケショウヤナギ群落が多く分布。上渚滑地点より上流は両岸が段丘となっており、ヤチダモ - ハルニレ群落が連続して分布。山付き部の河畔林ではオジロワシ、オオワシが採餌のためのとまり木等として利用。サケ、サクラマス、カラフトマス等の遡上。
- ・ 下流部(ウツツ川合流点から河口)中流部と同様にオジロワシ、オオワシ等が生息。魚類ではカワヤツメやイトヨ日本海型、エゾハナカジカ等の回遊性の魚類が生息。河口付近は緩やかな流れは感潮域。ハマニンニク等の砂丘植生が生育。



上流部の錦仙峡

ケショウヤナギ  
(環境省RDB絶滅危惧 類)

オオワシ(天然記念物)

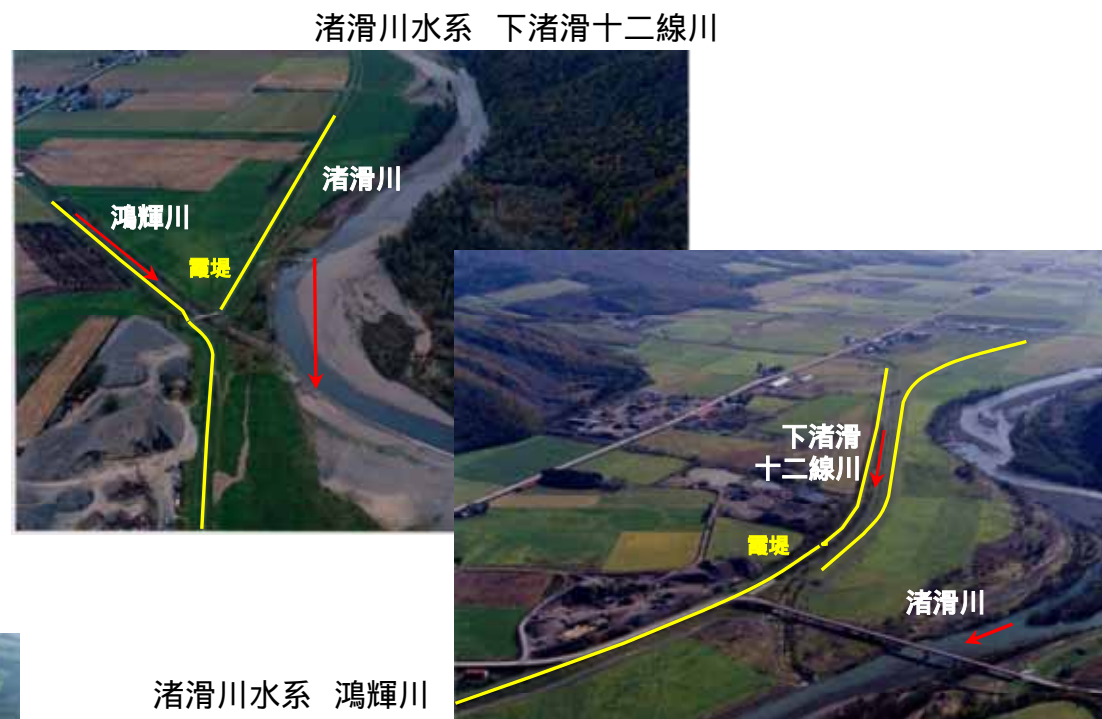
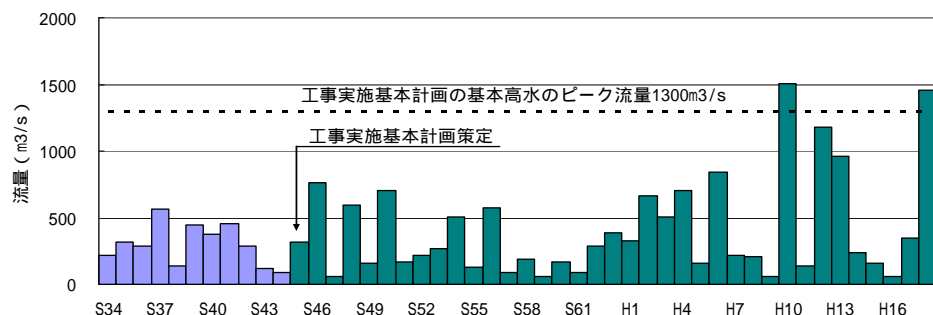
ケショウヤナギが  
生育する中流部ケショウ  
ヤナギ

# 1 . 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

## (1) 流域及び河川の概要

( 災害の歴史と治水事業の沿革 )

- ・昭和9年から北海道第2期拓殖計画の一環として、直轄事業に着手。上渚滑地点における計画高水流量50,000立方尺秒(約1,300m<sup>3</sup>/s)として、捷水路工事とともに、旧河道を包絡するように堤防の整備。右岸の支川においては、霞堤。
- ・昭和45年には一級河川に指定。同年に既定計画を踏襲した工事実施基本計画を策定。
- ・その後、既往最大となる平成10年9月洪水や同2位にあたる平成18年10月洪水の既定計画を超える大きな出水が2度にわたり発生し、被害等を受け、現在まで築堤、河道掘削等の工事を実施。



河口閉塞により、支川渚滑古川へ逆流し、浸水被害が発生  
河口閉塞を防止するため、左岸導流堤(昭和57年～昭和63年)を整備

# 1 . 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

## (1) 流域及び河川の概要

(河川水の利用)

・ 開拓農民による利用に始まり、現在は約3,300haに及ぶ農地に利用。また、水道水、工業用水、水力発電で利用。

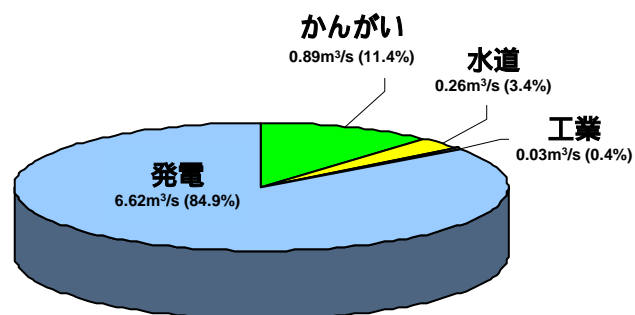
(水質)

・ 水質については、BOD75%値で見ると、近年は概ね環境基準を満足。

(河川の利用)

・ 河川の利用については、キャッチアンドリリース区間を設けるなど、溪流釣りの魅力ある川づくり。

水利用



国内最大のキャッチアンドリリース区間を設定し、多くの釣り人が訪れている。  
(滝上町)



渚滑川に隣接する滝上公園は日本有数の芝桜の名所として知られ、「芝桜まつり」が行われる。  
(滝上町)

# 1 . 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

## (2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

### (治水、利水、環境の総合的な方針)

- ・治水、利水、環境に関する施策を総合的に展開。
- ・水源から河口まで水系一貫とした計画。
- ・健全な水循環系の構築を図るため、流域一体となって取り組み。
- ・河川の有する多様な機能を十分発揮できるよう適切な維持管理。
- ・流域における土砂移動に関する調査・研究に取り組むとともに、治水上安定的な河道の維持に努める。

### ア．災害の発生の防止又は軽減

#### (流域全体の河川整備の方針)

- ・地域の豊かな自然環境や地域の風土、歴史等に配慮しながら、河道の掘削等、氾濫水を戻す機能等を有する霞堤の適切な維持、保全、水衝部の護岸等を整備など水系全体としてバランスよく治水安全度を向上。
- ・堤防の詳細点検結果を踏まえ、対策を実施する。
- ・河道掘削、護岸等の整備にあたっては、長期的な河道の維持、多様な動植物の生息・生育・繁殖する良好な環境、河川景観等の保全、河川利用に配慮。
- ・河口部、支川の合流部等については、洪水の安全な流下、河床の安定を図るため、洪水時の水位の縦断変化等について継続的な調査観測を実施し、その結果を反映した河川整備や適切な維持管理。
- ・関係機関と連携・調整を図りつつ、必要に応じて内水被害の軽減対策を実施。

#### (河川管理施設の管理、ソフト対策)

- ・河川管理施設の機能の確保及び施設管理の高度化、効率化。
- ・樹木阻害による洪水位への影響を十分把握し、河川環境の保全に配慮しつつ、伐採等適切な管理。
- ・計画規模を上回る洪水等に対する被害軽減。
- ・情報伝達体制の充実等の総合的な被害軽減対策。

### イ．河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

#### (河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持)

- ・今後とも関係機関と連携して広域的かつ合理的な利用の促進を図るとともに、必要な流量を維持する。
- ・情報提供、情報伝達体制の整備とともに、水融通の円滑化などを関係機関及び水利使用者等と連携して推進。

# 1 . 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

## (2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

### ウ．河川環境の整備と保全

- ・人々と渚滑川の歴史的・文化的関わりを踏まえ、豊かな自然環境を良好な状態で次世代に引き継ぐよう努める。
- ・河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、河川環境管理の目標を定め、地域住民や関係機関と連携しながら、地域づくりにも資する川づくりを推進。

### (動植物の生息地、生育地の保全)

- ・多様な動植物を育む瀬・淵やワンド、河岸、河畔林等の定期的なモニタリングを行いながら、治水面や周辺の土地利用との整合を図りつつ、良好な自然環境の保全。
- ・ケショウヤナギ群落やヤチダモ - ハルニレ群落の、サケ、サクラマス、カラフトマス等の魚類の生息環境、産卵環境、河口付近の砂丘にはハマニンク等の砂丘植生の保全。
- ・外来種については関係機関と連携して移入回避や必要に応じて駆除等を実施。

### (良好な景観の維持・形成)

- ・豊かな自然環境に囲まれた水辺景観等の保全。周辺の景観と調和のとれた水辺空間の維持、形成等。

### (人と河川との豊かなふれあいの確保)

- ・良好な河川環境を保全しつつ、関係自治体や地域住民のニーズを踏まえ、生活の基盤や歴史、文化等を活かしつつ、各地域の特色を引き出すなど係機関や地域住民と一体となって取り組んでいく。

### (水質)

- ・関連事業、関係機関や地域住民との連携・調整を図りながら水質の保全に努める。

### (河川敷地の占用及び工作物の設置、管理)

- ・貴重なオープンスペースとして利用が適正に行われるよう努める。

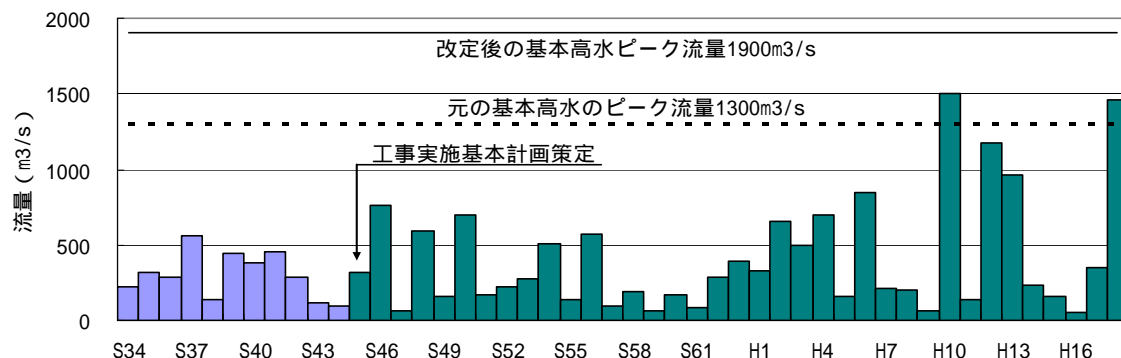
### (モニタリング)

- ・環境や景観に関する情報収集やモニタリングを適切に行い、河川整備や維持管理に反映。

### (地域の魅力と活力を引き出す河川管理)

- ・溪流釣り等憩いの場として利用されていることも踏まえ、河川に関する情報を地域住民と幅広く共有し、住民参加による河川清掃、河川愛護活動等を推進するとともに、防災学習、河川の利用に関する安全教育、環境教育等の充実。

## 2 . 河川の整備の基本となるべき事項



工事実施基本計画策定以降、既定計画の基本高水のピーク流量を超過する洪水が発生。

このため、既定計画を見直すこととし、全国バランス等を考慮しつつ、流域内の人口・資産等を踏まえ、計画規模を1/100とする。

流量データによる確率からの検討、時間雨量データによる確率からの検討、既往洪水による検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等により総合的に検討して、基本高水のピーク流量を上渚滑地点において1,900m³/sとする。

### (1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量等一覧表

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量(m³/s)	洪水調節施設による調節流量 (m³/s)	河道への配分流量(m³/s)
渚滑川	上渚滑	1,900	0	1,900

### (2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

計画高水流量図(単位:m³/s)



### (3) 主要地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

河川名	地点名	河口又は合流点からの距離(km)	計画高水位 T.P.(m)	川幅 (m)
渚滑川	上渚滑	河口	41.56	140
		河口	4.92	320



( 4 ) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するために必要な流量に関する事項

- ・上渚滑地点：利水の現況、動植物（サケ・サクラマス・カラフトマスなど）の保護等を考慮し、概ね $3\text{m}^3/\text{s}$ 。